公益財団法人日本美術刀剣保存協会 平成30年度事業報告及び決算報告

I 事業の実施状況

1. 博物館事業

(1) 展示事業

平成30年度刀剣博物館の展示活動及び入館者数は34ページ表1の通り。

(2) 鑑賞会事業

① 定例鑑賞会

定例鑑賞会は、8月、11月及び12月を除く毎月第2土曜日午後1時から当協会講堂において開催しました。鑑賞会には平均六八名の出席があり、刀剣の鑑賞並びに鑑定刀の入札及び当協会学芸員による解説を行いました。また定例鑑賞会にあわせて、平成24年9月から刀剣を手にとつて鑑賞したことの無い初心者の方向けの刀剣の扱い方、鑑賞の方法を学ぶための「刀剣鑑賞マナー講座」を予約制で開催し、修了した方には修了証を発行しており、平成30年度は八四名の参加者がありました。

その他協力団体が公益事業として開催する鑑賞会に、依頼により鑑定刀の貸与及び講師の派遣を行いました。平成30年度は七六件の依頼があり、刀剣類五点を貸与し、鑑賞の指導を講師（当協会学芸員）が行いました。協力団体開催の鑑賞会の平均出席者は二五名でありました。

② 全国大会

公益財団法人に移行して第2回目、両国に移転後初めてとなる全国大会（全国規模の鑑賞会）を、当協会設立70周年及びたたら操業40周年を記念して、11月24日から25日の2日間、刀剣博物館及び第一ホテル両国で開催し、役員も合わせて三七〇名超の参加者がありました。

本大会では、通常の鑑賞会の規模を超えて、一三〇点余の名刀を一同に

鑑賞していただくとともに、現代作家の作品を展示する等文化財としての刀剣類の普及を図りました。刀剣博物館においては企画展の開催とともに、記念講演を行いました。

また、本大会記念式典においては、彬子女王殿下に御臨席いただきおこたばを賜りました。さらに、同式典において協会関係功労者及び協力団体の功労者並びに一本入札高得点者に賞状と記念品を贈呈いたしました。

(3) 作品発表会（現代刀職展）

新作名刀展（作刀、刀身彫、彫金の職方の作品）及び刀剣研磨・外装技術発表会作品展（研磨、白鞘、刀装、柄前、白銀の職方の作品）を改組した二〇一八年度現代刀職展を開催しました。

この展示は現代作家の作品発表の場の提供及び多くの方に技術の高さをアピールすることを目的としており、平成30年7月21日（金）～10月8日（日）までの開催期間で一〇、五七六名のお客様にご来場いただきました。

(4) 古伝書等の公開

当協会収蔵の古伝書、一般刀剣関係書籍等を月曜日から金曜日の10時から16時（12時～13時を除く）まで事前予約制で一般の利用に供しました。入室、閲覧は無料とし、コピーサービス（有料）も提供しました。平成30年度は三六件の利用がありました。

(5) 刀剣相談

当協会に来館、または書面、電話での刀剣等に関するあらゆる相談を受け付け、刀剣類の文化財としての位置づけを認識していただくとともに、刀剣類の手入れ方法や保存方法についても助言いたしました。また銃砲刀剣類所持等取締法に基づく所轄警察署への届出等、関係法令の周知徹底を図り、各都道府県教育委員会への登録申請の相談も受け登録業務に

協力いたしました。

(6) 広報誌の発行

平成30年度は広報誌『刀剣美術』を75号から76号まで発行いたしました。当協会の編集委員及び編集担当職員が毎月編集委員会を開催して内容を検討し、投稿された刀剣関係の論文、随想、資料の紹介等の掲載の他、定例鑑賞会の報告及び当協会や刀剣界の情報発信源として、また刀剣類の知識の向上を目的として会員の皆様への配布のみならず、刀剣博物館においても一般に頒布いたしました。

(7) ホームページ活用

『刀剣美術』誌と共に、当協会や刀剣界の情報発信源として活用しているほか、刀剣の知識が学べるようなページを構成しています。また、『刀剣美術』誌の記事の一部を英訳してホームページから見ることができるようにし、海外の研究者、愛刀家等の要望にも応えています。引き続き会員の皆様をはじめとしたお客様に分かりやすい情報発信に努め、お客様とのコミュニケーションツールとして運用してまいります。

2. 教育、講習事業

(1) 刀職技能訓練講習会

刀職者の技能向上とその普及を目的として、西日本で行っているこの講習会は、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で研修生を募集し、平成30年度で32回を数え、備前長船刀剣博物館において平成30年6月26日(火)から6月29日(金)の4日間開催いたしました。講習部門は「柄下地の部」と「刀装金具の部」の2部門で、「柄下地の部」は柄巻師の無鑑査認定者の講師により「鮫の手入れ方法」を講習テーマとして実施し、受講者は六名でした。「刀装金具の部」は白銀師の講師により「目貫下地の基礎技法」を講習テーマとして実施し、受講者は四名でした。

(2) 第51回刀剣研磨・外装技術研修会

また、最終日の閉講式において受講生に受講証書を交付いたしました。刀職者の技術の向上とその普及を目的として行っているこの研修会は、

広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、当協会講堂において平成30年7月30日(月)から8月4日(土)までの6日間開催いたしました。

研修部門は「研磨の部」「鍛冶研ぎの部」(前半3日間)及び外装の部として「白鞘の部」「柄前の部」「白銀の部」(後半3日間)であり、「研磨の部」は研師の無鑑査認定者の講師により、「下地研ぎ」を研修テーマとして実施し、特別研修生三名、研修生三名、聴講七名の参加がありました。「鍛冶研ぎの部」は刀匠の無鑑査認定者の講師により「鍛冶研ぎの基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生一名、聴講生一名の参加がありました。「白鞘の部」は鞘師の講師により、「掻き入れと仕上げの基礎技法」を研修テーマとして実施し、研修生一名、聴講生五名の参加がありました。「柄前の部」は柄巻師の講師により「柄巻の基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生一名、研修生五名の参加がありました。「白銀の部」は鍔師の無鑑査認定者の講師により、「鍔製作の基礎技法・金着の基礎技法」を研修テーマとして実施し、特別研修生一名、聴講生八名の参加がありました。

また、3年間の研修終了者は柄前の部の特別研修生一名、白銀の部の特別研修生一名、研磨の部の研修生二名、柄前の部の研修生一名がおり、修了証書を交付し、その他研修生、聴講生にそれぞれ研修証書、聴講証書を交付いたしました。

(3) 第36回作刀技術実地研修会

この研修会は、文化庁の作刀承認を得ること及び若手刀匠の技術向上を目的として、広報誌『刀剣美術』、当協会ホームページで研修生を募集し、平成30年9月26日(水)から9月29日(土)の4日間、島根県の日刀保日本刀鍛錬道場において開催しました。

本研修会は3年で修了となるカリキュラムで行っていますが、今回は第13期の3年目にあたり「焼入れ」をテーマとして講師に刀匠で無鑑査認定者二名により実施し、特別研修生一名、研修生一名、聴講生七名の参加がありました。この研修では近年のサブテーマである「各種玉鋼の効果的用法」の研修も行いました。

(4) 村下養成研修会

たたら操業の日程にあわせ「日刀保たたら」において、日刀保たたら村下を講師に村下後継者の養成を行いました。養成員一〇名の参加がありました。

3. コンクール事業

(1) 二〇一八年度現代刀職展

現代作家の技術の向上及び普及を目的に、新作名刀展及び刀剣研磨・外装技術発表会を改組、新たに現代刀職展とした作刀の部、刀身彫の部、彫金の部研磨の部及び外装の部として白鞘の部、刀装の部、柄前の部、白銀の部の8部門について広報誌『刀剣美術』、協会ホームページ、刀剣博物館掲示板で公募し、作刀の部、刀身彫の部、彫金の部は平成30年4月2日(月)から4日(水)の間受付け、研磨の部、白鞘の部、刀装の部、柄前の部及び白銀の部は平成30年6月4日(月)から6日(水)受付けました。申請された作刀の部三七点、刀身彫の部四点、彫金の部一六点については、平成30年4月11日(水)に審査会を開催し、研磨の部六七点、白鞘の部八点、刀装の部六点、柄前の部一七点、白銀の部八点については、平成30年6月14日(木)に審査会を開催しました。その結果は、特賞は作刀の部四名、彫金の部一名、研磨の部六名、刀装の部一名、柄前の部二名の計一四名、優秀賞は作刀の部五名、刀身彫の部二名、彫金の部一名、研磨の部五名、白鞘の部一名、柄前の部五名、白銀の部二名の計四一名、入選は作刀の部一三名、刀身彫の部二名、彫金の部一〇名、研磨の部三三名、白鞘の部五名、刀装の部三名、柄前の部八名、白銀の部三名の計七七名、無鑑査による出品は、作刀の部一一点、彫金の部一点、研磨の部九点、柄前の部二点、白銀の部一点でありました。

平成30年7月13日(金)午後1時から、当協会講堂において表彰式を執り行い、入賞者に賞金・賞状及び副賞、入選者に入選証書をそれぞれ交付しました。また各部門について審査員代表が審査員講評を行いました。

展示は平成30年7月21日(土)から10月8日(月)まで刀剣博物館にて、10月24日(水)から11月15日(木)まで山形県の致道博物館にて、11月23日(金)から12月16日(日)まで富山県の森記念秋水美術館において巡回展を行いました。

4. 検定・資料収集事業

(1) 刀剣類の保存・特別保存審査

5月、8月、11月と2月を除き、毎月保存刀剣及び特別保存刀剣等の審査を実施し、刀剣は6月からの3カ月毎に、刀装・刀装具は4月からの3カ月毎に、該当月の指定した3日間で受付けます。受付点数により審査を複数回設け、審査は理事会の決議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に審査を行い、合格したものは鑑定書を発行しました。

受付点数、合格点数は次のとおりでした。

区 分	受付点数	合格点数
保 存 刀 剣	七四三三	四九七八
刀 装	三四五	一七七
刀 装 具	三四〇八	二一三一
特別保存 刀 剣	三三七二	二三四二
刀 装	二〇三	一〇三
刀 装 具	八五四	六〇四

(2) 刀剣類の重要・特別重要審査

第25回特別重要刀剣は、4月16日(月)～18日(水)の3日間で受付けいたしました。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。また、5月26日(土)から7月16日(月)まで刀剣博物館において指定品の展示を行い指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を頒布いたしました。

第64回重要刀剣等審査は10月9日(火)～11日(木)の3日間で受付けいたしました。審査は理事会の議を経て会長が指名または委嘱した審査員により、審査規程に則り厳正に第1次及び第2次審査を行いました。また、

指定品の指定書及び指定品を纏めた図譜を現在作成中です。

指定品の展示は平成31年2月19日(火)から3月31日(日)まで刀剣博物館において行いました。

受付点数、合格点数はそれぞれ次の通りでした。

区分 受付点数 合格点数

第25回特別重要	刀剣	三四二	七〇
	刀装	一〇	二
	刀装具	四一	五
第64回重要	刀剣	九一六	一三五
	刀装	六三	七
	刀装具	二九六	二三

(3) 資料収集

保存・特別保存・重要・特別重要各審査の合格物件すべての調書を作成し、写真もしくは押形と共に保管し、データベースで管理しました。また過去の合格物件も順次データ化を進めております。

また、全国の重要文化財等の保管施設に職員を派遣し、刀剣押形等の貴重な資料の収集を行い、収集した資料を刀剣美術にて公開しました。

5. 資格付与事業

(1) 無鑑査の選任

今年度末現在、無鑑査認定者は作刀の部が一六名、彫金の部が四名、研磨の部が一七名、外装の部が一〇名です。

(2) 伝位授与

伝位審議会を平成30年9月及び平成31年3月の2回開催し、初伝位一名、中伝位三名の合計四名の合格を認めるとともに、理事会等の決定により、それぞれ伝位証書を授与しました。

(3) 刀剣等指導員・刀剣等指導補助員登録

刀剣等指導員規程による指導員登録の申請が一名より提出され、刀剣等指導員規程第2条の資格を有しているため証明書が発行されました。刀剣等指導員の資格要件に中伝位以上を授与された者と規定されているこ

とから、伝位授与と連動して指導員として刀剣文化の普及に活躍する人材を育てることを目的としています。なお、今年度は刀剣等指導補助員の申請はありませんでした。

6. たたら製鉄事業

たたら操業を平成31年1月23日(水)から2月9日(土)まで三代実施しました。期間中は村下養成研修会とし、日刀保たたら村下を講師に村下後継者の養成を行いました。これに先立ち、操業開始前の準備として数日前より釜土の混練や本床への火入れなどを行いました。炉床の状態を整え、本操業に臨み、伝統技術の保存・伝承に努めました。

操業自体は下準備から始まり、釜作り・三昼夜操業・釜壊しを1単位つまり一代と数え、釜作り以降の作業を計3回行い、1回平均約2・5トンの鉤を生産しました。

また操業終了後からは、生産された鉤を破砕し翌年度以降の玉鋼配布準備のため等級毎に選別する作業を行いました。

操業期間外では、日刀保たたら村下の指導のもと、ほぼ通年で以下の作業を行っています。①三代分のたたら炭の生産(約36トン)、②粘土の選別と確保、③注文に応じての玉鋼発送作業、④その他適宜発生する業務。さらに、生産された玉鋼について全国の刀匠に対し頒布の文書を郵送しました。

7. 刀剣文化振興の助成事業

当協会の協力団体は国内に80団体、海外に4団体設立されており、全国及び海外の刀剣普及活動の拠点となっています。

〈国内80団体〉

日刀保根室支部	日刀保帯広支部	日刀保札幌支部	日刀保旭川支部
日刀保青森県支部	日刀保八戸支部	日刀保岩手県支部	
日刀保秋田県支部	日刀保羽後秋田支部	日刀保庄内支部	
日刀保山形支部	日刀保米沢支部	宮城県美術刀剣保存協会	
日刀保会津支部	日刀保福島県南支部	日刀保いわき支部	

日刀保福島支部 新誠会 日刀保高崎支部 日刀保茨城県支部
 日刀保茨城県西北支部 土浦亀城刀剣会 日刀保栃木県支部
 埼玉県刀剣保存協議会 日刀保千葉県東部支部 日刀保千葉県支部
 日刀保東京都支部 日刀保東京多摩支部 日刀保横浜支部 鎌倉刀剣会
 日刀保湘南支部 日刀保山梨県支部 日刀保新潟支部 日刀保長岡支部
 日刀保富山県支部 越前愛刀会 日刀保石川県支部 日刀保若狭支部
 日刀保福井支部 日刀保長野県南支部 日刀保長野県北支部
 日刀保長野県東信支部 日刀保静岡岡支部 日刀保静岡東部支部
 日刀保三河支部 日刀保名古屋支部 日刀保岐阜県支部
 日刀保三重県支部 日刀保京都府支部 日刀保大阪支部
 日刀保兵庫県支部 姫路しらさぎ刀剣会 日刀保奈良県支部
 日刀保和歌山県支部 日刀保岡山県支部 日刀保山口県支部
 広島県美術刀剣保存協会 日刀保島根県支部 日刀保鳥取県支部
 日刀保香川県支部 日刀保四国讃岐支部 日刀保香川西支部
 日刀保愛媛県支部 日刀保徳島県支部 日刀保高知県支部
 日刀保北九州支部 日刀保八幡支部 協力団体博多支部
 福岡美術刀剣振興会 福岡県文化財保存会 日刀保筑後支部
 日刀保熊本県支部 日刀保宮崎支部 日刀保延岡支部 日刀保長崎支部
 日刀保佐賀県支部 葉隠刀友会 日刀保大分支部 日刀保大分県北支部
 日刀保鹿児島県支部

〈海外4団体〉

ヨーロッパ支部 アメリカ支部 ロシア支部 イタリア支部
 (1) 協力団体で開催する鑑賞会へ講師の派遣及び鑑賞刀剣の貸与
 1.(2)鑑賞会事業参照。

(2) 協力団体で開催する鑑賞会へ鑑賞刀剣のみの貸与
 平成30年度は一三件。

(3) 協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催
 平成30年度の協力団体で主催する刀剣類の展示会の助成及び共催事業は、
 以下の通りです。

①日刀保岐阜県支部「現代の刀装職方と金工美濃彫展」

②日刀保長崎支部「日本美術刀剣と押形展」

II 管理部門

1. 会員の状況 34ページ表2の通り。

2. 職員に関する事項

職員数計二七名 男子一七名 女子一〇名(前期末比増減なし)
 平均年齢 男子50歳 女子52歳

3. 役員会等に関する事項

(1) 平成30年度第1回理事会

日時 平成30年5月24日(木) 午後1時30分から3時
 議題 ①平成29年度事業報告及び決算について

②定時評議員会の招集について

③規程類の改廃について

(2) 平成30年度定時評議員会

日時 平成30年6月18日(月)午後1時30分から3時30分
 議題 ①平成29年度事業報告及び決算について

②評議員及び役員等の報酬等の支給基準並びに費用に関する規則
 の改正について

(3) 平成30年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 平成30年12月10日(月)
 議題 ①名誉会長、名誉顧問、名誉館長、相談役及び参与に関する規程
 の制定について

(4) 平成30年度理事会(定款第44条による理事会)

日時 平成31年2月15日(金)
 議題 ①現代刀職展運営委員会委員の選任について

(5) 平成30年度第2回理事会

日時 平成31年3月28日(木) 午後1時30分から3時
 議題 ①平成31年度事業計画及び予算について

表1

展示名	期間	一般	会員	招待	学生	中学生以下	団体	ぐるっとバス利用者	計(人)
第63回重要刀剣等新指定展	4. 10～ 5. 20	4,639	226	342	401	445	44	781	6,878
第25回特別重要刀剣等新指定展	5. 26～ 7. 16	4,776	253	368	513	494	107	1,097	7,608
2018年度現代刀職展—今に伝わるいにしえの技—	7. 21～ 10. 8	6,826	150	452	864	975	161	1,148	10,576
企画展 諸国漫遊—多彩なるお国拵と日本刀五ヶ伝を巡る旅—	10. 13～ 12. 24	12,863	323	659	1,339	592	213	1,393	17,382
特別展 筑前左文字の名刀	H31. 1. 12～ 2. 11	5,980	241	420	655	561	60	715	8,632
第64回重要刀剣等新指定展	2. 19～ 3. 31	4,576	185	347	547	481	133	527	6,796
合計		39,660	1,378	2,588	4,319	3,548	718	5,661	57,872

(うち 外国人9,290)

表2

会員種別	国内					海外		計
	普通会員	学生会員	維持会員	優遇会員	終身会員	普通会員	終身会員	
平成31年3月末日	3,963人	24人	5人	8人	56人	273人	12人	4,341人
昨年度との差	-93人	-4人	-2人	±0人	±0人	+31人	+3人	-65人

Ⅲ その他

- (1) 外部文化団体からの出陳要請により協会所蔵文化財のほか、玉鋼、砂鉄や、たたら製鉄の工程などのパネルを貸与しました。また各文化団体からの要請により所蔵文化財等の画像を貸与しました。
 - (2) 刀剣博物館は海外からの来館者がさらに増加傾向にあり、また協会主催の研修会に参加希望も多く、そうしたニーズにできる限り柔軟に対応して各種事業に海外居住者への利用を促進しました。
 - (3) 当協会は昭和23年に東京国立博物館内において設立され、昭和43年2月に代々木の地に会館を建設して移転しました。約半世紀を経過し、建物の老朽化が激しく、東京都墨田区旧安田庭園内両国公会堂跡地への新築移転計画を進め、墨田区をはじめとする関係各所との協議・検討を経て、平成28年7月に工事着工、平成29年8月に竣工、刀剣博物館は平成30年1月19日より開館し、公開承認施設としての運営に向け関係機関のご指導を得ながら、引き続き努力してまいります。
- 平成30年度事業報告には、定款第11条に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

令和元年5月

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当期末	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	61,157,877	14,564,324	46,593,553
未収金	52,217,969	159,780,334	△ 107,562,365
販売用書籍	20,533,375	16,307,553	4,225,822
製原材	89,891,424	86,575,306	3,316,118
前払金	334,368	1,966,485	△ 1,632,117
流動資産合計	9,277,698	139,484	9,138,214
	233,412,711	279,333,486	△ 45,920,775
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	996,768,964	1,017,391,770	△ 20,622,806
預金	556,026,307	556,026,307	0
刀剣及び小道具	791,250,000	766,250,000	25,000,000
基本財産合計	2,344,045,271	2,339,668,077	4,377,194
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	69,704,872	56,131,956	13,572,916
減価償却引当資産	119,476,655	119,476,655	0
刀剣学奨学積立資産	4,863,763	4,863,763	0
新刀剣博物館建設積立資産	22,715,609	5,818,989	16,896,620
全国大会積立資産	0	10,000,000	△ 10,000,000
資料購入資産	200,000,000	0	200,000,000
審査支援システム改修資産	74,208,000	0	74,208,000
特定資産合計	490,968,899	196,291,363	294,677,536
(3) その他固定資産			
建物	17,417,141	19,877,238	△ 2,460,097
建物付属設備	599,964,559	652,485,862	△ 52,521,303
構築物	108,551,267	114,462,288	△ 5,911,021
機械装置	9,868,906	11,409,490	△ 1,540,584
什器備品	54,791,823	70,351,778	△ 15,559,955
土地	300,000	300,000	0
保証金	70,000	70,000	0
刀剣及び小道具	173,061,809	161,691,809	11,370,000
研修用教材	15,367,000	15,367,000	0
絵画	9,534,118	3,234,118	6,300,000
図書及び押型	8,960,000	8,960,000	0
その他固定資産	1,976,063	3,952,126	△ 1,976,063
その他固定資産合計	999,862,686	1,062,161,709	△ 62,299,023
固定資産合計	3,834,876,856	3,598,121,149	236,755,707
資産合計	4,068,289,567	3,877,454,635	190,834,932
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	33,306,581	4,822,212	28,484,369
前受金	29,781,885	25,434,851	4,347,034
預り金	4,465,615	5,174,469	△ 708,854
賞与引当金	8,199,651	8,807,883	△ 608,232
流動負債合計	75,753,732	44,239,415	31,514,317
2. 固定負債			
退職給付引当金	69,704,872	62,380,610	7,324,262
固定負債合計	69,704,872	62,380,610	7,324,262
負債合計	145,458,604	106,620,025	38,838,579
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	1,320,799	1,743,998	△ 423,199
寄附金	97,376,645	83,699,411	13,677,234
受贈固定資産	76,000,000	51,000,000	25,000,000
指定正味財産合計	174,697,444	136,443,409	38,254,035
(うち基本財産への充当額)	(151,981,835)	(130,624,420)	(21,357,415)
(うち特定資産への充当額)	(22,715,609)	(5,818,989)	(16,896,620)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	3,748,133,519	3,634,391,201	113,742,318
(うち特定資産への充当額)	(2,192,063,436)	(2,203,224,668)	(△ 11,161,232)
(うち特定資産への充当額)	(398,548,418)	(140,159,407)	(258,389,011)
正味財産合計	3,922,830,963	3,770,834,610	151,996,353
負債及び正味財産合計	4,068,289,567	3,877,454,635	190,834,932

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	53,621	421,781	△ 368,160
基本財産利息収益	53,621	421,781	△ 368,160
特定資産運用益	811,205	810,811	394
特定資産受取利息	811,205	810,811	394
受取会費及び入会金	47,801,681	46,220,558	1,581,123
会費及び入会金	47,801,681	46,220,558	1,581,123
事業収益	540,848,405	276,602,791	264,245,614
刀剣博物館入館料収益	45,961,216	8,199,900	37,761,316
保存刀剣等鑑定会受取会費	338,406,000	176,842,300	161,563,700
重要刀剣等指定会受取会費	92,367,000	54,544,000	37,823,000
鑑賞会受取会費	3,037,200	2,445,200	592,000
書籍売上高	13,504,671	3,174,565	10,330,106
出版売上高	11,602,970	5,348,730	6,254,240
広告料収益	11,559,820	11,509,560	50,260
伝位登録料収益	187,000	253,000	△ 66,000
全国大会収益	6,921,500	0	6,921,500
たたら事業収益	17,301,028	14,285,536	3,015,492
受取補助金等	3,073,199	2,995,002	78,197
受取国庫補助金	2,650,000	2,650,000	0
受取国庫補助金振替額	423,199	345,002	78,197
受取寄付金	10,754,766	1,117,830	9,636,936
一般寄付金	100,000	0	100,000
受取寄付金振替額	10,654,766	1,117,830	9,536,936
雑収益	5,988,544	109,741,804	△ 103,753,260
受取利息	1,662	913	749
雑収益	5,986,882	109,740,891	△ 103,754,009
諸引当金戻入	8,807,883	8,217,543	590,340
賞与引当金戻入	8,807,883	8,217,543	590,340
経常収益計	618,139,304	446,128,120	172,011,184
(2) 経常費用			
事業費用	482,277,646	426,548,694	55,728,952
役員報酬	3,264,400	3,102,400	162,000
給料手当	129,436,229	132,487,148	△ 3,050,919
福利厚生費	23,166,259	22,640,543	525,716
賃金	23,055,460	33,414,041	△ 10,358,581
旅費交通費	5,972,399	3,881,401	2,090,998
通信搬費	15,877,021	10,661,272	5,215,749
消耗品費	4,010,234	26,826,375	△ 22,816,141
印刷製本費	43,567,872	29,090,931	14,476,941
光熱水料費	7,295,797	4,388,999	2,906,798
修繕費	13,655,139	10,141,519	3,513,620
賃借料	18,858,603	18,328,749	529,854
租税公課	30,469,580	619,875	29,849,705
助成費	6,560,000	6,838,800	△ 278,800
支払保険料	3,229,533	1,296,655	1,932,878
書籍仕入費	8,062,961	2,308,992	5,753,969
玉鋼材料費	14,009,106	12,808,182	1,200,924
支払負担金	149,247	172,472	△ 23,225

委託費	4,084,308	2,381,006	1,703,302
廣告宣傳費	15,563,450	19,544,936	△ 3,981,486
渉外費	7,125,956	2,970,088	4,155,868
雑費	1,089,943	12,803,702	△ 11,713,759
減価却費	95,049,100	63,152,370	31,896,730
退職給付費用	8,725,049	6,688,238	2,036,811

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
管 理 費	30,219,340	28,694,190	1,525,150
役員報酬	3,445,600	3,737,600	△ 292,000
給料手当	2,641,556	2,703,819	△ 62,263
福利厚生費	1,219,277	1,191,608	27,669
旅交通費	2,607,939	2,892,481	△ 284,542
通信搬送費	835,633	561,120	274,513
消耗品費	348,716	2,332,729	△ 1,984,013
光熱水料費	634,417	381,652	252,765
修繕費	1,187,403	881,871	305,532
貸借料	1,419,465	1,484,957	△ 65,492
支払保険料	615,149	246,982	368,167
顧問料	5,940,000	5,248,800	691,200
支払負担金	67,053	77,488	△ 10,435
広告宣伝費	481,344	604,483	△ 123,139
渉外費	1,459,533	608,331	851,202
雑費	22,244	847,586	△ 825,342
減価却費	6,792,489	4,475,928	2,316,561
退職給付費用	459,213	352,012	107,201
会議費	42,309	64,743	△ 22,434
経常費用計	512,496,986	455,242,884	57,254,102
当期経常増減額	105,642,318	△ 9,114,764	114,757,082
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産受贈益	8,100,000	2,800,000	5,300,000
過年度修正益	0	2,727,000	△ 2,727,000
経常外収益計	8,100,000	5,527,000	2,573,000
(2) 経常外費用			
固定資産売却除却損	0	5,906,641	△ 5,906,641
過年度修正損	0	2,727,000	△ 2,727,000
経常外費用計	0	8,633,641	△ 8,633,641
当期経常外増減額	8,100,000	△ 3,106,641	11,206,641
当期一般正味財産増減額	113,742,318	△ 12,221,405	125,963,723
一般正味財産期首残高	3,634,391,201	3,646,612,606	△ 12,221,405
一般正味財産期末残高	3,748,133,519	3,634,391,201	113,742,318
II 指定正味財産増減の部			
受取国庫補助金	0	2,089,000	△ 2,089,000
受取寄付金	24,332,000	62,182,241	△ 37,850,241
固定資産受贈益	25,000,000	51,000,000	△ 26,000,000
一般正味財産振替	△ 11,077,965	△ 1,462,832	△ 9,615,133
当期指定正味財産増減額	38,254,035	113,808,409	△ 75,554,374
指定正味財産期首残高	136,443,409	22,635,000	113,808,409
指定正味財産期末残高	174,697,444	136,443,409	38,254,035
III 正味財産期末残高	3,922,830,963	3,770,834,610	151,996,353

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金		運転資金として	3,155,050
	普通預金	みずほ銀行 新宿新都心支店 他	運転資金として	55,809,010
	郵便貯金	代々木郵便局振替口座	運転資金として	2,193,817
	未収金		審査事業における審査料 他	52,217,969
	販売用書籍	「入札鑑定同然帳」他	出版書籍の在庫である。	20,533,375
	製品	島根県仁多郡奥出雲町	玉鋼の在庫である。	89,891,424
	原材料	島根県仁多郡奥出雲町 砂鉄	玉鋼の材料の在庫である。	334,368
	前払金		公益目的事業における刀剣鍛造費用 他	9,277,698
流 動 資 産 合 計				233,412,711
(固定資産) 基本財産	建物	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	996,768,964
	普通預金	三井住友信託銀行新宿支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	266,784,198
	定期預金	三井住友信託銀行新宿支店 他		289,242,109
	刀剣及び小道具	日本刀 他	公益目的保有財産であり、協会の事業の用に供している不可欠特定財産である。	791,250,000
	基 本 財 産 合 計			

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
特定資産	退職給付引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	職員16名に対する退職金の支払いに備えた積立資産である。	28,912,802	
		定期預金みずほ銀行新宿新都心支店 他		40,792,070	
	減価償却引当資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店	将来の固定資産への投資のための引当資産である。	12,989,532	
		定期預金三井住友信託銀行新宿支店		10,000,000	
		国債		96,487,123	
	刀剣学奨学積立資産	定期預金荘内銀行東京支店		4,863,763	
	新刀剣博物館建設資産	普通預金みずほ銀行新宿新都心支店 他	刀剣博物館建設事業の寄付金である。	22,715,609	
	資料購入資産	東京東信用金庫両国支店	博物館での展示、鑑賞会、研究その他に活用する資料を取得するための資産である。	200,000,000	
審査支援システム改修資産	三菱UFJ銀行本所支店	審査支援システム改修のための資産である。	74,208,000		
特 定 資 産 合 計				490,968,899	
その他の固定資産	建物	島根県仁多郡奥出雲町	(供用財産) うち、公益目的保有財産99.4% うち、管理目的の財源として使用する財産0.6%	17,417,141	
	建物付属設備	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産94% うち、管理目的の財源として使用する財産6%	599,964,559	
	構築物	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	108,551,267	
	機械装置	島根県仁多郡奥出雲町 東京都墨田区横網1-12-9	公益目的保有財産である。	6,660,419 3,208,487	
	什器備品	東京都墨田区横網1-12-9	(供用財産) うち、公益目的保有財産92% うち、管理目的の財源として使用する財産8%	54,791,823	
	その他固定資産	東京都墨田区横網1-12-9		1,976,063	
	土地	長野県上田市		300,000	
	保証金	(株)セコム	セキュリティシステム等の保証金として預けているものである。 公益目的保有財産である。	70,000	
	刀剣及び小道具	東京都墨田区横網1-12-9 日本刀 他		173,061,809	
	研修用教材	東京都墨田区横網1-12-9 刀剣及び小道具	公益目的保有財産である。	15,367,000	
	絵画	東京都墨田区横網1-12-9 日本画 他	公益目的保有財産である。	9,534,118	
	図書及び押型	東京都墨田区横網1-12-9 網屋押型 他	公益目的保有財産である。	8,960,000	
	そ の 他 固 定 資 産 合 計				999,862,686
	固 定 資 産 合 計				3,834,876,856
資 産 合 計				4,068,289,567	

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金		当期消費税確定額 他	33,306,581
	前受金	個人会員 他	公益目的事業及び管理目的の業務に使用する会費 他	29,781,885
	預り金	職員他	社会保険料 他	4,465,615
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	8,199,651
流動負債合計				75,753,732
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員13名に対する退職金の支払いに備えたものである。	69,704,872
固定負債合計				69,704,872
負債合計				145,458,604
正味財産				3,922,830,963

監査報告書

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
会長 酒井 忠久 殿

令和元年5月28日

公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
監事 小池 哲
公益財団法人 日本美術刀剣保存協会
監事 田口 堯

公益財団法人日本美術刀剣保存協会における平成30年4月1日から平成31年3月31日までの監査の方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事会などの会議に出席し、理事及び担当者からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告等及び会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、計算書類(貸借対照表・正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 1) 事業報告は、法令及び公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に従い、法人の状況を正しく表示しているものと認めます。
- 2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは公益財団法人日本美術刀剣保存協会定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を正確に示しているものと認めます。

以上